

地震に備えて あなたの住まいは 安全ですか？

- わが家の簡易耐震診断
- みよし市の耐震支援策の概要

平成7年阪神・淡路大震災では、亡くなった人の8割以上が建物の倒壊等による圧死や窒息死でした。

特に昭和56年以前の旧建築基準で建てられた木造住宅に大きな被害ができました。

東海地震などの大規模地震の切迫性が指摘される今、耐震診断によりわが家の耐震性を知り、必要な耐震改修・補強をすることが大切です。

みよし市では、町民の生命の安全確保を図るため、木造住宅の耐震改修支援を進めています。



写真：「平成19年新潟県中越沖地震」の木造家屋被害状況(愛知県資料)

